

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 19日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
愛知県豊田市緑ヶ丘5-14
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
日本ガasket株式会社
代表取締役社長 細井 啓志
(代理人)取締役工場長 野村 啓介

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	日本ガasket株式会社 代表取締役社長 細井 啓志
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	愛知県豊田市緑ヶ丘5-14

1 事業所の概要

事業所の名称	日本ガasket株式会社 工場						
事業所の所在地	滋賀県米原市大野木1952-1						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 自動車部分品・付属品製造業	
事業の概要	・自動車用及び内燃機関用ガasketの製造 ・自動車用及び産業機械用樹脂製品の製造						
従業員の数	250 人			操業時間		16 時間／日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者						
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者						
	☐ 任意提出事業者						
主要な設備	ボイラ	台		熱源設備	36 台	照明設備	台
	コンプレッサ	11 台		空気調和設備	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2021 年度	報告対象年度	2023 年度
	終了 年度	2025 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

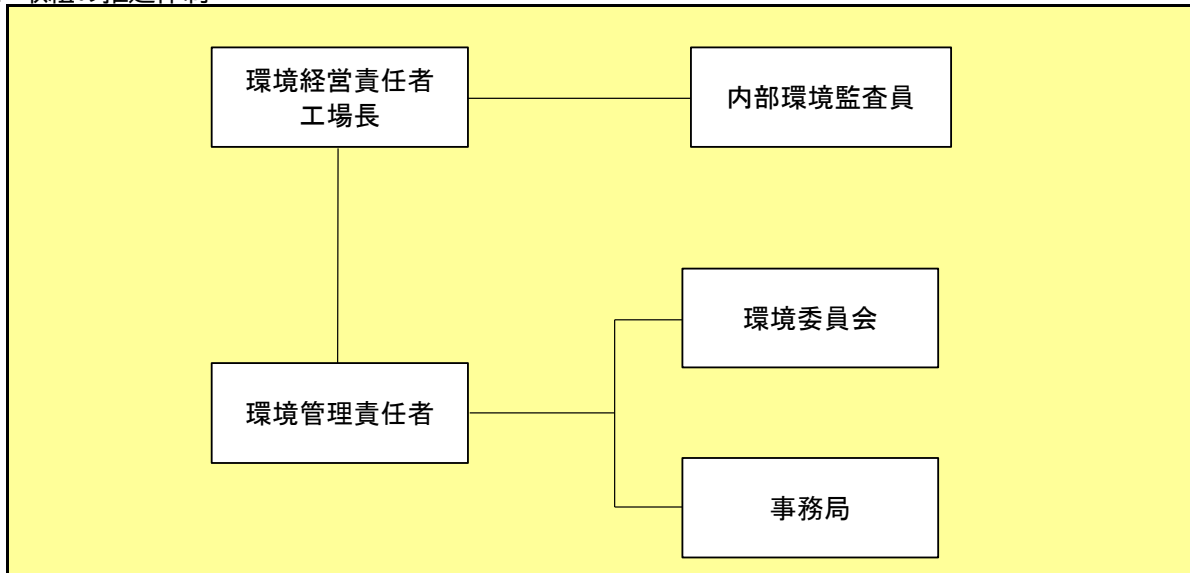
<基本方針>

蛍の乱舞する大自然の恵みを後世に継承

<方針>

- 1、法規制、条例、協定の遵守
法規制、条例、協定等の要求事項を遵守する
- 2、自主的な取組み
環境側面を的確にとらえ、自主的な目標設定と継続的改善を推進する
 - ①地球温暖化の防止
 - ②資源の有効活用
 - ③環境負荷物質による汚染の防止
 - ④生物多様性の保全による自然環境との調和
- 3、社会との連携・協力
社会から信頼される企業市民をめざす
- 4、環境技術の追及
環境に優しい製品の開発とものづくりをめざす

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・照明のLED化
- ・エアコンの省エネタイプに更新
- ・空調機設定温度のルール化
- ・街路灯の季節変動による点灯、消灯時間の変更
- ・長期休暇中の従業員駐車場の照明OFF

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	LED照明の省電力機器への更新	2021年～2025年	実施中
2	運用改善	生産性向上活動	2021年～2025年	実施中
3	設備導入	太陽光発電設置の検討	2021年～2025年	実施済み
4	設備導入	設備更新時も省エネタイプ変更	2021年～2025年	実施中
5	運用改善	直間のコンプレッサー停止	2021年～2025年	実施中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
前年度を基準とし、以下の数値目標の達成を目指す。 原単位＝「温室効果ガス排出量/生産数量」で毎年1%減 原単位の考え方は次の通りです。 温室効果ガス排出量は生産数に大きく影響を受けるため、生産数を原単位の分母として設定する。	【2023年度】 原単位は前年と比較して良くなっており目標達成。 CO₂の排出量も前年と比較して低減できた。 ※CO₂換算係数は、係数変更の影響を除外するため、毎年0.0003707t/kWhを使用

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,622	1,708	1,616	1,551		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	1,945	1,593	2,038	1,924		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	1,945	1,593	2,038	1,924		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.05252	0.0497	0.0462	0.0372		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光パネルの設置	2024年	2024年3月28日より発電開始
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	電力プランをCO2フリーのプランへ変更
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	192	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0	2,237		
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0	2,237		